

第3版 はしがき

第3版を上梓する。

2007年10月の新版刊行後、自公政権下でのねじれ国会の出現、その後の民主党政権の誕生など政治情勢が激変した。

それを受けた立法過程の変容については、2011年1月に「補遺」を作成して必要最小限の記述を加えたが、このたびの第3版では、その後の野田政権下での解散総選挙による民主党の政権転落と自民党の政権復帰（第2次安倍内閣の登場）、2013年7月参議院選挙によるねじれ解消までの動きも含め、新版以降の各種動向を織り込んだものとなっている。

民主党政権下での政治主導を巡る混乱の渦中に居た者の一人としては、そこで感じ、思い、考えたことも多々あることから、第3版は、初版、新版にも増して私の問題関心や個性が濃厚に反映された観があり、初版はしがきに記したような「なりふりかまわぬ本」の装いを益々呈するようになったと感じている。読者の御海容をお願いする次第である。

第3版の執筆に当たっては、資料収集等の面で、厚生労働省の喜名明子さん、安田正人さん、松本篤人さん、一橋大学国際・公共政策大学院の桑折恭平さん（現・総務省）の御協力を得た。また、法律文化社編集部の小西英央さんには、初版、新版に引き続き手厚いサポートをいただいた。

深く感謝申し上げます。

2013年9月

中 島 誠